

2021 年 6 月 7 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

## 【ゼネコン】他社牽制力ランキング 2020

### トップ 3 は清水建設、鹿島建設、大成建設

弊社はこのほど「ゼネコン業界」を対象に、2020 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「ゼネコン業界 他社牽制力ランキング 2020」をまとめました。この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2020 年に最も引用された企業は、1 位 **清水建設**、2 位 **鹿島建設**、3 位 **大成建設**となりました。

#### 【ゼネコン業界 他社牽制力ランキング 2020 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	<b>清水建設</b>	436
2位	<b>鹿島建設</b>	345
3位	<b>大成建設</b>	343
4位	<b>大林組</b>	306
5位	<b>竹中工務店</b>	298
6位	<b>フジタ</b>	116
7位	<b>熊谷組</b>	97
8位	<b>前田建設工業</b>	92
9位	<b>三井住友建設</b>	88
10位	<b>安藤ハザマ</b>	67

#### 【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2020 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2020 年 1 月から 12 月までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。  
本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2021 年 5 月 1 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。  
なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1 位 **清水建設**の最も引用された特許は「造成工事における重機の施工ナビゲーションシステム」に関する技術で、コマツの計 7 件の審査過程で引用されています。このほかには「火災の延焼防止及び生存者の避難誘導を効果的に行うための支援を可能とする火災時現場対応支援システム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、三菱重工業の「災害区画特定装置、制御方法及びプログラム」など計 4 件の拒絶理由として引用されています。

2020 年に、清水建設の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は竹中工務店（37 件）、次いで鹿島建設、大林組（いずれも 23 件）となっています。

2 位 **鹿島建設**の最も引用された特許は「免震装置の交換方法」に関する技術で、前田建設工業などの計 4 件の審査過程で引用されています。このほかには「既存建物の免震構造化方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、前田建設工業などの計 3 件の拒絶理由として引用されています。

2020 年に、鹿島建設の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は竹中工務店（26 件）、次いで清水建設（22 件）、大成建設（16 件）となっています。

3 位 **大成建設**の最も引用された特許は「高周波誘導加熱処理により部材を高強度化した、耐震性の高い鉄骨部材の接合部」に関する技術で、ネツレンの「鉄骨造建物及びその施工方法」関連特許 4 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2020 年に、大成建設の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は鹿島建設（33 件）、次いで竹中工務店（27 件）、大林組（19 件）となっています。

4 位 **大林組**は「室内構造ユニット及び室内構造」、5 位 **竹中工務店**は「施工性と施工性を向上しつつ、壁状地盤改良体で囲まれた内側領域の地盤の液状化を抑制できる基礎構造」が、最も引用された特許として挙げられます。

\* \* \*

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

#### 【ゼネコン業界 他社牽制力ランキング 2020 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 30 社：本業界の被引用件数上位 30 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL：03-5802-6580 FAX：03-5802-8271 HP：<https://www.patentresult.co.jp/>